

# KENCON COOP JOURNAL

【建コンコープジャーナル】2014年1月24日発行 通巻第101号

# No. 101

編集/発行

**建設コンサルタンツ協同組合**  
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒111-0041

東京都台東区元浅草4-9-13 イマス元浅草ビル7階

TEL 03-5827-0381 FAX 03-5827-0382

URL <http://www.kencon-coop.or.jp>

E-mail [webmaster@kencon-coop.or.jp](mailto:webmaster@kencon-coop.or.jp)

# 確かな 明日に 向かって。

青森・滋賀・新潟・沖縄で開催

## 土木設計技士資格普及活動

建設関連業イメージアップ促進活動に参加



## 新年のご挨拶



理事長 堀 尚義

(株式会社東光コンサルタンツ 代表取締役)

副理事長 山本 実

(日建コンサルタンツ株式会社 代表取締役)



# 新年のご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合理事長 堀 尚義

(株式会社東光コンサルタンツ 代表取締役)

新年明けましておめでとう御座います。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、この1年への決意も新たに清々しい気持ちで新年を迎えられたことと存じます。

昨年は組合員の皆様には大変お世話を成り誠に有難う御座いました。厚く御礼申し上げます。また、本年度も宜しくお願いいたします。

さて、一昨年暮れの政権の交代から早1年が経過いたしました。我々を取り巻く公共事業関連にも漸く永いトンネルの先に少し明るさが見え始めたようであります。

昨年は一昨年同様、建設業振興基金から助成金を頂き「土木設計技士の普及事業の一環」として青森県、滋賀県、沖縄県、新潟市の四大都市を訪問し発注者へのPR活動を積極的に進めてまいりました。一昨年は大阪府、兵庫県、石川県、宮崎県の4箇所を訪問させていただきましたのでこの2年間で全国8箇所の地域で発注者、組合員の皆様と腹藏ない意見交換会を開催することが出来、少しでも組合員の皆様と膝を交えて話会いの場をもてた事を大変嬉しく思うものであります。会談の場を設定いただきました山内理事をはじめ、村西理事、村尾副理事長、その他地方の大勢の方にもお忙しい中をお骨折り頂きこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。組合員数も3年前の66社から72社に僅かではありますが増加しており今後も地道な活動を続けて行きたいと祈念しております。又、この土木設計技士の普及活動に当たっては山本副理事長の献身的支えがあって始めて可能に成りましたことも併せ御礼申し上げます。また組合員増強にあたりましては、黒田理事の指導力・ご協力にも感謝申し上げます。また、組合の重要な広報活動に際しましては、ホームページのリニューアル等神田理事のご尽力によるところが大きく有難う御座いました。



さて、今年も土木設計技士の資格試験が実施される予定でございますが、平成21年度から23年度までの3年間は建設産業共同教育訓練協議会と共催の形で協力させて頂き、24年度は後援の形でしたが昨年度からは主催は勿論、協力団体からもはずされておりますので試験実施についての詳細につきましては直接、建設産業共同教育訓練協議会にお尋ね頂きたくお願い申し上げます。

今年度も役員一同組合活動に誠心誠意つとめてまいりますので組合の皆様には今後とも指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

# 新年のご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合副理事長 山本 実

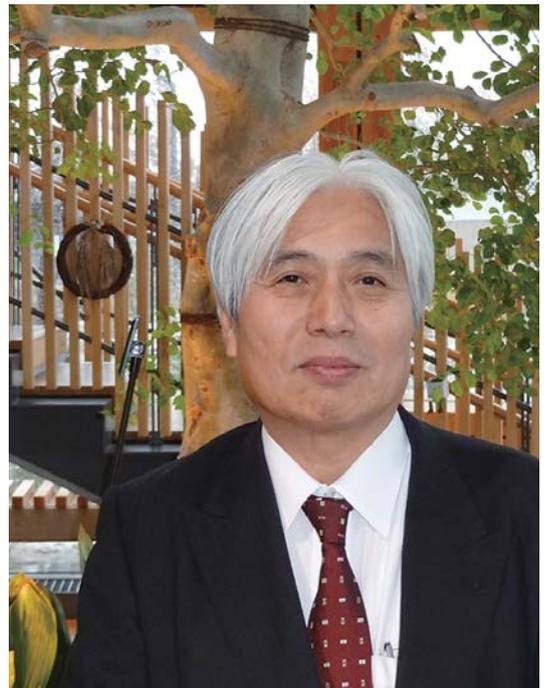
(日建コンサルタンツ株式会社 代表取締役)

明けましておめでとうございます。

2014年、新しい年が始まりました。組合員の皆さんと新しい年を恙なく迎えることができ、感謝を申し上げたいと思います。

今年は、堀理事長が第八代理事長に就任(平成23年5月)なされて3年目を迎えます。

堀理事長は、常々組合活動の大切さとして、「助け合うことの大切さ(互助の精神)」、「Face to face conversationの大切さ」を掲げ、我々を指導してきました。昨年もその思いを受け、土木設計技士の普及活動として青森県、滋賀県、新潟市、沖縄県の4箇所を訪問し発注者へのPR活動、さらに地元企業の皆さんと膝を交えた情報交換の場を持つことが出来ました。我われは、仕事をする際「現場百回」と言いますが、今回各地区を訪問させて頂き、その土地の皆さんと直接お会いし、言葉を交わすことにより、そこで得られること、知ることの多さに驚き、感動させられて参りました。今年はどのような形で組合員の方とお会いできるか分かりませんが、出来るだけ多くの人とお話できる機会を持ち、問題意識が共有できればと思います。



今年の世界経済は、総じて明るい見通しを持つことは難しいと思われませんが、日本では安部政権2年目を迎え、成長戦略の実現に向けて大きく期待されているところです。

しかしながら、我われ業界にとって、バブル以降の付けはとて大きく、特に「人」の問題は時代の変化に追従できない状況になろうとしております。特に中小企業にとって、そのひずみは大きく、一企業だけでの対応が極めて難しい時代へと入りつつあるように思えてなりません。

大きく時代の「潮目」が変わろうとしているとき、堀理事長が提唱している「助け合うことの大切さ(互助の精神)」が、今、組合員にとって本当に必要であり、大切なことではないでしょうか。

今年も堀理事長の方針のもと、役員が一丸となって組合員皆さんと共に歩むことができる施策を、誠心誠意、考えて行きたいと思っております。今後とも、組合員の皆様にはご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

# 土木設計技士資格等普及活動

2013年に地方4都市を訪問し、土木設計技士資格等の普及活動を行いました。  
各都市で行われた普及活動の概要をお伝えします。当組合ホームページでは、動画もご覧いただけます。



## 青森

日時：平成25年9月17日  
会場：青森県庁

- 青森県側： 県土整備部整備企画課 伊藤文二 課長代理  
同 企画・指導調査グループ 荻沢 壽 総括主幹  
同 建設システムグループ 下村和広 総括主幹
- 組合側： 理事長 堀 尚義  
副理事長 山本 実  
理事 山内英夫(地元組合員：エイコウコンサルタンツ株式会社)  
黒田真一郎  
神田康嗣  
監事 高野泰隆  
地元組合員 小笠原敏雄(イト技術株式会社)  
三浦康房(株式会社水域ネットワーク)  
地元協力 野呂 博((一社)青森県建設コンサルタント協会)  
事務局 久下善生



土木設計技士資格は若い技師B、Cレベルの技術力を担保しようとするものであります。また発注時には、業務内容に合わせて「技術士、RCCM、または、土木設計技士」というように資格指定してもらえればさらにありがたい。

若い人にとって魅力ある職場にするという意味でも、土木設計技士資格は大卒3年程度で受験が可能となり、若手技術者のモチベーションを高めることもできます。



ホームページで動画をご覧いただけます。  
<http://www.kencon-coop.or.jp>

## 滋賀

日時：平成25年10月28日  
会場：滋賀県庁

- 滋賀県側： 土木交通部監理課技術管理室 藤本義輝 主幹  
同 新屋敷保 企画管理担当  
同 鈴木祐司 担当
- 組合側： 理事長 堀 尚義  
副理事長 山本 実  
理事 黒田真一郎  
事務局 久下善生
- 富士教育訓練センター： 校長 小松原 学  
管理課 加賀美 武



技術士を補完する資格としてRCCMが誕生したが、これも大卒で当時は経験13年、現在は10年たたないと資格が取れない。しかし実際に道路の改良設計などの中小企業が行っている仕事は定型的な場合が多く、技術士が実際に設計することは少ないのではないかと。そういった業務の実情に焦点を合わせた資格、技術士が技師長とか技師Aを担うとすれば、技師BとかCくらいの資格があってもいいのではないかと位置づけであります。

資格取得のインセンティブ、つまりこの資格をとったらどういうメリットがあるのかということに着目される方が多かったというアンケート結果をもとに、富士教育訓練センターさんにご協力いただき、テクニカルエンジニアのための資格として創設していこうということになりました。

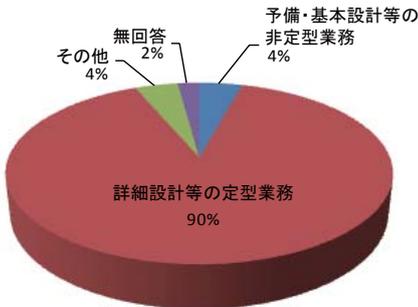


ホームページで動画をご覧いただけます。  
<http://www.kencon-coop.or.jp>

## 全国の自治体に対して行った事前アンケートの結果(抜粋)

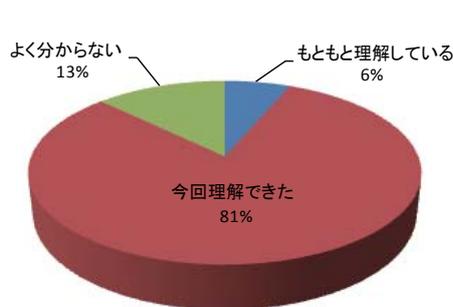
### 最も件数が多い業務内容

- ①特殊工法・解析を伴う高度・専門的業務
- ②予備・基本設計等の非定型業務
- ③詳細設計等の定型業務
- ④その他
- 無回答



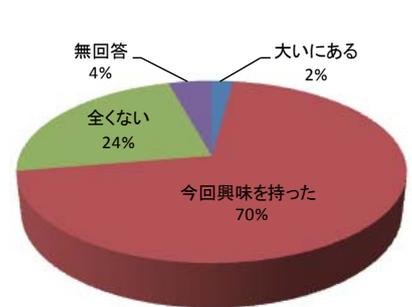
### 技術士・RCCMとの違いを理解してもらえたか

- ①もともと理解している
- ②今回理解できた
- ③よく分からない
- 無回答



### 土木設計技士への興味

- ①大いにある
- ②今回興味を持った
- ③全くない
- 無回答



## 新潟

日時：平成25年11月29日  
会場：新潟市役所

### ～土木工事及び設計業務委託にかかる片務性の解消についての研修～

- 新潟市側：9区都市政策部関係係長 30名
- 組合側 副理事長 村尾 建治
- 副理事長 山本 実
- 理事 黒田 真一郎
- 事務局 久下 善生
- 時田 美智子

土木設計技士資格は、いわゆる専門の技術屋さんを増やしたいという意味でこの試験をしております。職人的に図面がひける人にある資格を持たせて、きちんと自身の分かった設計をしてもらおうというためにこの資格をつくりました。

大手のコンサルにしても技術士の管理技術者はいますが、実際に図面をひいているのはその人ではなく、若い方が技術士の指導の下で、手を動かして図面をひいている場合もあります。そういう人たちのスキルレベルを計るのに、土木設計技士を持っていれば、それなりのスキルがあるということにつながります。



## 沖縄

日時：平成25年12月4日  
会場：沖縄県青年会館

- 沖縄県：農林水産部南部農林土木事務所農業水利班班長 砂川 勝彦
- 一般社団法人沖縄県漁港漁場協会事務局長 奥平 勝昭
- 地元コンサルタント会社
- 有限会社インプラン 上里 和踏
- 株式会社与那嶺測量設計 東竹西 広晃
- 株式会社匠エンジニアリング 島袋 愿
- 有限会社パブリックコンサルタンツ 名嘉 安嗣
- 有限会社流測コンサルタント 横田 永人
- 有限会社地建 砂川 博昭
- 株式会社海秀 名嘉真 充
- 有限会社カイホウ計画 瑞慶覧 明
- 有限会社シグマ技研 依光 洋一
- 有限会社南土木設計 狩俣 隆芳
- 同 當間 一希
- 株式会社沖縄建設技研 新垣 健二
- 株式会社八島建設コンサルタント 平良 隆
- 組合側 理事長 堀 尚義
- 副理事長 山本 実
- 理事 黒田 真一郎
- 理事 神田 康嗣
- 監事 高野 泰隆
- 事務局 久下 善生
- 時田 美智子



## 建設関連業イメージアップ促進活動に参加

当組合は国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課を中心とする建設関連業イメージアップ促進協議会のオブザーバーとして活動に参加させていただいております。

平成25年度は、就労前の学生等を対象とし、人材確保・技術の承継に寄与することを主たる目的として活動が行われました。

このうち大学を訪問して、直接、学生に業界を紹介する説明会は、4大学の土木工学系学科に対して実施されました。



芝浦工業大学での説明会

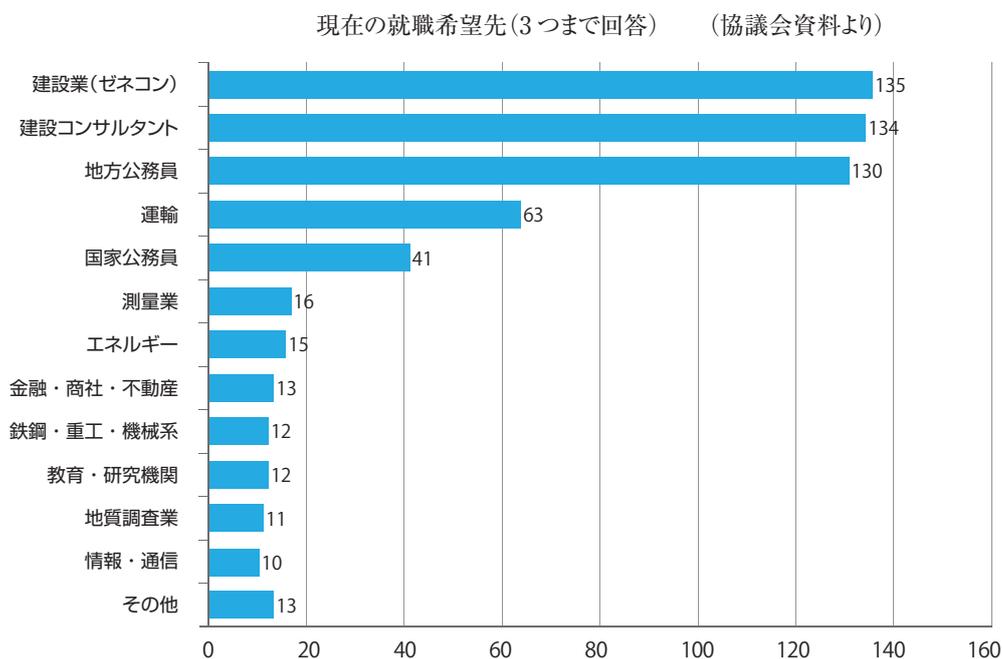
- 6月15日：芝浦工業大学工学部3年生
- 11月13日：東京都市大学工学部2年生
- 11月18日：日本大学理工学部3年生
- 11月21日：法政大学デザイン工学部3年生

大学の協力によって授業の一環として実施する場合や、希望者のみ参加の説明会の場合もありましたが、4大学合計269名に説明することができました。

同時に学生に対するアンケートも行われ、学生が就職先を希望するにあたって重視する項目は「社風・雰囲気良さ」、「やりがいがあること」などが上位で、「社会的知名度の大きさ」、「転勤があること」は下位であることがわかりました。

また、これらの土木工学系の学生が建設コンサルタントを志望する割合はゼネコンに匹敵することもわかりました。

当組合は来年度もこの活動に協力していく予定です。



## 編集後記



昨年はホームページのリニューアルをさせていただき、本年は年頭にあたり101号のジャーナルを新たな出発点として制作させていただきました。理事長が提唱されている「互助の精神」を具体的にどう反映させていくか模索が続いている状況ですが、まずは器を整えつつ、少しずつ変えて行こうと思う次第です。

本号では、昨年の普及活動をご紹介いたしました。土木設計技士のPRが目的の意見交換会でありましたが、各地の皆様との情報交換という意味でも有意義であり、組合の必要性を実感することができました。このような活動を積極的に行って、組合の皆様のご意見、ご要望を反映し、さらに一歩進んで協同の場を形成しようと考えています。

今後とも、よろしくご協力・ご支援を賜れますようお願い申し上げます。

建設コンサルタンツ協同組合 広報部会長 神田 康嗣



一昨年より、組合の広報委員として微力ながらホームページのリニューアルならびに創立50周年記念誌の発行に携わらせていただきました。そして本年より、伝統ある本紙『建コンコープジャーナル』も新たに制作させていただき運びとなりました。50周年を迎えられた当組合の広報の一翼を担えることに、喜びを感じずにはられません。

広報部会がこうして円滑に活動を進められましたのも、理事長をはじめとする理事の方々、多くの組合員様、そしていつも私のうるさい企画話などに耳を傾けてくださる事務局の方々のご理解があつてのことだと、あらためて深く感謝いたします。

これからも、組合の繁栄、ひいては組合員様の繁栄のために、ホームページやジャーナルを通じて広報部会の役割を全うする所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

建設コンサルタンツ協同組合 広報委員 橋本 康延

最新情報は建コンホームページをご覧ください。 <http://www.kencon-coop.or.jp>



### ホームページで公開している情報

- ・ 組合概要・事業内容・組合員名簿・入会案内・賠償責任保険
- ・ 建コンコープジャーナルバックナンバー・関連情報
- ・ 土木設計技士資格概要・50周年記念誌 PDFダウンロード
- ・ 最近の活動状況動画・過去の活動動画・リンク集

### 組合員様相互の情報交換を容易にするために

- ・ 組合員様ならどなたでもご投稿いただける「コラムコーナー」
- ・ 全国の組合員様の業務紹介および地元PRコーナーを新設予定

### 総会や土木設計技士資格等普及活動の動画を公開

- ・ 地方都市での普及活動の様子を動画でご覧いただけます。
- ・ 通常総会など、過去の動画もご覧いただけます。

組合員の方には、特別価格で  
ホームページ作成も承っております。  
ぜひ、ご相談ください。

お問合せ・ご要望は、建設コンサルタンツ協同組合事務局まで

webmaster@kencon-coop.or.jp

The logo features the text "KONCON COOP" in a small, blue, sans-serif font above the word "JOURNAL" in a large, bold, blue, sans-serif font. A stylized blue and red graphic element is positioned to the left of the "J" in "JOURNAL".

編集／発行

A stylized blue and red logo consisting of a curved line and a vertical bar.

**建設コンサルタンツ協同組合**  
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒111-0041

東京都台東区元浅草4-9-13 イマス元浅草ビル7階

TEL. 03-5827-0381 FAX. 03-5827-0382

URL <http://www.kencon-coop.or.jp>

E-mail [webmaster@kencon-coop.or.jp](mailto:webmaster@kencon-coop.or.jp)